

令和7年度卒業式・修了式「お祝いの言葉」について

報告内容

令和7年度の区立小・中学校、幼稚園における卒業式及び修了式の「お祝いの言葉」について報告します。

報告事項（別紙のとおり）

- 1 令和7年度 幼稚園修了式「お祝いの言葉」
- 2 令和7年度 小学校卒業式「お祝いの言葉」
- 3 令和7年度 中学校卒業式「お祝いの言葉」

令和七年度 幼稚園修了式 お祝いの言葉

〇〇組の皆さん、幼稚園修了、おめでとうございます。

先ほど、園長先生から、名前を呼ばれて、修了証書を受け取られた皆さん一人ひとりの姿はとても立派でした。園長先生のお話を聞くとときも、姿勢よくしっかりと聞くことができました。今までの幼稚園での生活をとおして、皆さんがお兄さんお姉さんに成長したことが伝わってきます。

皆さん、〇〇幼稚園で楽しい思い出がたくさんできましたか。

皆さんは、毎朝、おうちの人と手をつなぎ、「おはようございます。」と元氣にあいさつをして幼稚園に通いました。皆が幼稚園で楽しく生活できるように見守り続けてくれたおうちの人に「ありがとう。」という気持ちを忘れないでくださいね。

また、幼稚園生活では、片付けや当番の仕事など、自分のことは自分でできるようにしました。

他にも劇や合奏、運動会に友達と協力して取り組んだこと、ネイティブテイチャーの先生たちと世界の様々な文化に触れたことなど心に残る思い出がたくさんできましたね。

四月から皆さんは、小学校一年生です。港区の小学校では、国語や算数のほか、英語の勉強もあります。お昼には、おいしい給食を食べます。わくわくドキドキするような楽しいことが皆さんを待っています。そして、小学校にはたくさんの新しいお友達がいます。お友達とたくさん遊び、たくさん勉強して、立派な一年生になってください。

さて、保護者の皆様、本日はお子様の幼稚園修了、おめでとうございます。これまで愛情を注いで、育ててこられたお子様の晴れの姿に、胸を熱くされたことと思います。

子どもたちの心豊かで健やかな成長は、ご家庭の愛情はもちろんのこと、PTA並びに地域の皆様、本日御臨席いただきました皆様の温かいご理解とご支援、ご協力のたまものです。心から御礼申し上げます。

結びに、〇〇園長先生をはじめ教職員の方々に感謝を申し上げますとともに、本日、晴れて幼稚園を修了した園児の皆さんの健やかな成長を祈念しまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

令和八年三月十八日

本文
837字

【参考】
R6:830字

港区長 清家 愛
港区教育委員会

令和七年度 小学校卒業式 お祝いの言葉

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本日、小学校の全課程を修了され、晴れて卒業の日を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。大きく成長されたお子様の姿をご覧になり、喜びもひとしおのことと思います。

皆さんの清々しい表情は卒業の日を迎えた喜びと、これからの人生への期待に満ちあふれており、堂々とした姿は頼もしいかぎりです。

ここで、新しい生活を歩み始める皆さんに、港区並びに港区教育委員会から、お祝いの言葉を送ります。

皆さんが小学校に入学した当時、社会は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けており、友達と自由に会うことや、思いきり活動する機会が限られていました。そのような中でも、皆さんは、目の前にあることに一生懸命向き合い、少しずつ前へ進んできましたね。どのような状況にあっても希望をもち、努力と挑戦を続けることが、未来を切り開く力になるのです。ここで、そのことを力強く示してくれる、一人のアスリートを紹介します。

ニ―ゼロニ―ゴ―

やまだ まき

昨年、東京2025デフリンピックで金メダルを獲得した陸上の山田真樹選手です。山田選手は中学生のころ、「毎日30分走る」という目標を立て、欠かさず続けることで走力を伸ばしました。しかし、音を聞き取ることが難しい山田選手にとって、スタートが大きな壁でした。陸上競技では、スタートの合図が記録を大きく左右します。雨の日には補聴器を使っても音を聞き取りにくく、周囲の選手と同じようにスタートできないこともありました。それでも山田選手は、周囲の動きを目で捉え、集中力を高めてスタートする練習を重ね、ベストタイムにつなげてきました。地道な努力と挑戦が未来を変えることを、身をもって体験したのです。

ニ―ゼロニ―

また、2022デフリンピックから公式採用された、音を光で知らせるスタートランプの開発に関わることで、自分と同じ境遇の選手たちの未来にも光を灯しました。山田選手は、「自分にとってスタートランプは、ただの光ではありません。希望の光なんです」と語っています。こうした努力の積み重ねや希望をもち取り組む姿勢が、今回の金メダルへとつながったのです。

卒業生の皆さんも、これから先、思うように進まないことや困難なことに会うことがあるでしょう。しかし、どのような状況にあっても希望を失わず、自分にできる努力を一つひとつ重ね、挑戦し続けることで、未来を必ず変えていくことができます。自分の力を信じて、歩み続けてください。

結びに、卒業生を今日まで温かくご指導いただきました〇〇校長先生をはじめ教職員の方々と、本校の教育活動に惜しみないご協力とご理解を賜りましたPTA並びに地域の皆様にご心より感謝を申し上げますとともに、〇〇名の卒業生の健やかな成長を心からお祈りし、お祝いの言葉といたします。

令和八年三月二十四日

◎内容 ・ どのような状況にあっても希望をもつ

ことの大切さ

・ 地道な努力と挑戦が未来を変えること

本文
1,191 字

【参考】
R6:1,402 字

港区長 清家 愛
港区教育委員会

令和七年度 中学校卒業式 お祝いの言葉

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。本日、義務教育九年間の全課程を修了され、晴れて卒業のときを迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。立派に成長されたお子様の姿をご覧になり、喜びもひとしおのことと思います。

卒業生の皆さんの清々しい表情は卒業の日を迎えた喜びと、これからの人生への期待に満ちあふれており、堂々とした姿は頼もしいかぎりです。

ここで、港区並びに港区教育委員会から、お祝いの言葉を贈ります。

港区では、皆さんが広く国際社会で活躍することを願い、国際理解教育を重点事業の一つとしています。小学校では国際科、中学校では英語科に加え、英語科国際の授業を行っています。オーストラリアへの海外派遣に参加し、見聞を広めた人たちもいますね。

中でも、三年生で行ったシンガポールへの海外修学旅行は、これからの皆さんの人生に大きな影響を与える行事になったのではないのでしょうか。昨年、シンガポールは建国六十周年の節目の年でした。記念式典では、人種や宗教、文化の違いを超えて、互いに尊重し合いながら未来を築いていこうと団結したそうです。海外修学旅行後の皆さんの感想の中にも、次のようなものがありました。

「異文化交流をとおして、世界の広さを感じることができた。日本だけにとらわれず、視野を広げていきたいとより思うようになった。これからの世界には、違いを認め合って共存することが必要だと考えた。」

まさに、伝統や文化を尊重し、国際的な視野をもっていることが窺える感想です。皆さん一人ひとりが、港区の学校での学びを生かし、世界中の人たちと関わりながら、活躍することを願っています。

さらに、今後、国際社会で活躍する皆さんに、大切にしてほしい力があります。それは、日々の努力を継続する力です。ロサンゼルスドジャースの山本由伸選手やまもとよしのしのワールドシリーズでの活躍は記憶に新しいことでしょう。チームメイトは、「山本選手は毎日球場に来てチームの中で誰よりも練習している。あれほどの選手が、そこまで練習するのを見たら本当に刺激になる。」と語っています。世界中から称賛されたプレーの裏には、日々の努力の蓄積があったのです。皆さんも、目標に向かって努力を積み重ね、もてる力を最大限に伸ばしていただくさい。

結びに、〇〇校長先生をはじめ教職員の方々と、本校の教育活動に惜しみないご協力とご理解を賜りましたPTA並びに地域の皆様に心より感謝を申し上げますとともに、〇〇名の卒業生の皆さんの健やかな成長と今後も充実した生活が送れることを心からお祈りし、お祝いの言葉といたします。

令和八年三月十九日

◎内容 ・「真の国際人」として活躍することへの期待

・日々の努力を継続することの大切さ

本文
1,106字

【参考】
R6:1,464字

港区長 清家 愛
港区教育委員会